

現場でかっこよく働く女性たち [その3 田畑編]

【米農家】

“好き”が仕事に。トラクター愛がとまらない！

林崎栄美さん(秋田県)

農業女子PJメンバー



さまざまな活躍をしてくれる林崎さんの愛車ともいえるトラクター。

林崎さんは秋田県仙北市の農業生産法人（有）北浦郷（きたうらむら）の社員として米を中心に、とうもろこしや枝豆、白小豆などを生産しています。また、販売促進にも関わっていて、「5品種の米を生産していますが、それぞれの米袋の色をピンクや黄緑などカラフルにしました」と話します。



農業女子PJの活動の一環で、「女性農業者が軽トラックに求めるもの」をテーマにしたダイハツ工業（株）による調査に協力。UVカットのガラス、乗り降りがしやすいことなど女性の意見を活かした軽トラができた。

「昔はトレーラーの運転手になりたかったくらい運転が好きなので、農作業でも好きなのがトラクターの操作です。腕が上がり、大きな機械を自在に操れるようになるのが楽しいですね」

林崎さんは、持ち前のバイタリティを生かして、「あきた女性農業者"起業ビジネス塾"」のメンバーとして9種類のピクルスを考案。また、県内の農業女子たちと「あきたアグリヴィーナスネットワーク」を結成し、マルシェに出品するなど個人的にも色々なことにチャレンジしています。

「介護の仕事をしていましたが、三女の出産を機に農業の道に進むことを決めました。今の仕事に就いてから、休みたい、と思ったことが1日もありません。農業はやり方しだいで広がりのある仕事です。女性は人とつながる能力が高いと思います。それを発揮すれば、新規事業を始めたり、販売先を増やしたり、さまざまなことにチャレンジできるはずですよ」(林崎さん)。



あきたアグリヴィーナスネットワークのメンバーとしてマルシェに出店。



トラクターを操って田植えに励む林崎さん。



楽しそうに働く林崎さんを見ているためか、娘さんも「のうぎょうがやりたい」と口にするように。



休日は娘さんと一緒に料理を作っているのだとか。

ある日の林崎さん

- 5時起床
- 8時から8時30分出勤後、ミーティング
- 8時30分から9時30分車で米の配達
- 9時30分から12時農作業(トラクターの操作)
- 12時から13時昼休憩
- 13時から17時農作業(トラクターの操作)。途中15分から30分の休憩
- 18時帰宅
- 22時就寝



OL 出身の農業女子が始めた農業専門婚活サイト

岩立友紀子さん(千葉県・岩立農園(株) Raitai)



農業専門婚活サイトを運営する岩立友紀子さん。「これまで500名以上の方に利用いただき、38組のカップルが誕生。そのうち15組が成婚にいたりしました」。夫の昌之さんのネギ畑で。

農業専門婚活サイト「Raitai 恋の種まき」を運営する岩立友紀子さんは東京都生まれで、農業に縁のない家庭で育ちました。大学卒業後、会社勤めを始めた岩立さんですが、農業に興味をもつようになり、会社を退職。その後、農業研修を受け、一人で農園を立ち上げます。立ち上げと同時期に参加した農コン（農業婚活）で、柏市でちんげん菜やねぎを生産する専業農家の岩立農園の昌之さんと出会い、結婚することになりました。農業はしたいけれど農家に嫁ぐことに不安があった岩立さん。実際嫁いでみたら想像していたネガティブなイメージはなく、とても大切にしてくれているそうです。

自らの経験から、田舎暮らしをしたい女性と嫁不足に悩む農家の跡取りをつなぎたい、と考えるようになり、2017年に農業婚活のWebサイトをスタート。「農業に興味はあるけど二の足を踏んでいる女性をサポートすることで、日本の農業を強くすることに貢献したい」という思いでやっています」と岩立さんは言います。



ご自宅の前で夫の昌之さんと。昌之さんは「結婚後、意識が変化し、人を雇い、経営の規模拡大を図るようになりました」と言う。



▶ Raitai

農家の嫁になりたい人のための農業専門婚活サイト「Raitai 恋の種まき」。